利尻町（りしりちょう）　吉田悠人 さん

出身地：北海道　旭川市
直前の居住地：北海道　石狩市
利尻町居住歴：４年 10 ヶ月

利尻町に移住したきっかけ

高校卒業後、子どものころから憧れていたバックパッカーの旅に出ました。モンゴルやミャンマー、イスラエルなど多くの国を歩く中で、何度も人の優しさに救われました。見返りを求めない親切を受けるたびに、「自分も誰かのために役に立ちたい」と強く思うようになっていました。そんな時に思い出したのが、旅の資金を貯めるために過ごした利尻島。祭りの熱気、人の暖かさ、忘れられない記憶が背中を押し、「利尻で何かをしたい」と地域おこし協力隊として移住を決めました。

移住前の利尻町のイメージ・知識等

最初は“最北端にある島”というくらいの漠然としたイメージしか持っていませんでした。ただ、アルバイトで訪れたときに、海と山の美しさ、そして自然との距離が驚くほど近いこと、人との距離も驚くほど濃いことを知った瞬間に、一気に心をつかまれました。

住んで実感！利尻町のいいところ

やっぱり「人の温かさ」。外から来た自分を自然に受け入れてくれて、その優しさに支えられて日々を送っています。
そして、魚介の新鮮さ、海に沈む夕日の美しさ。どれも、毎日食べても見ていても飽きることがありません。
そして夏場の活気もいいところです。お祭りが毎週のようにあったり、昆布干しや観光で島を訪れる様々な人たちとの出会いなど。利尻の夏は何度体験しても面白いなと思います。

利尻町ならではの生活エピソード

祭りに参加したとき、最初は遠慮していましたが、気づけば島の人たちと肩を並べて踊り、笑い合っていました。地域の行事に入ると自然に輪の中に引き込んでくれるのが、利尻らしさだと思います。そして、日々の暮らしの中に圧倒的に美しい風景がいつも目の前にあって、移動中でもリラックスできる時間になります。

利尻町のおすすめスポット・グルメ

まずは「利尻山の山頂」。自分の足で登りきった者だけが出会える360 度の大パノラマは、言葉にできない景色です。
そして海鮮。ホッケ、ニシン、タコ、ウニ、アワビ。どれも驚くほど新鮮で、島に来て初めて“魚ってこんなにうまいんだ”と気づきました。夏の夕暮れどきには、ぜひ海に沈む夕日を。暮れる空と海の色は、一生の記憶になるはずです。

←冬の夜に仙法志（せんぽうし）から見た月明かりに照らされる利尻山

移住に興味がある方へのメッセージ

利尻には空港があり、札幌まではたったの1時間です。ドラッグストアで日用品は揃うし、ネット通販やフリマサービスも札幌と変わらない料金で届くので、暮らしてみると“不便さ”はあまり感じません。
厳しくも美しい自然、人との親密さ。ここにしかない時間の流れがあります。都会では味わえない豊かさや人間らしさを求めるなら、一度この島に訪れてほしいと思います。きっと心が動く瞬間があるはずです。